

本事業を体験し、企画の素晴らしさ、友好都市との連携や交流、また、被災地としての岩泉の現状をつぶさに視察でき非常に有意義な事業でありました。

初日の植樹については、あいにくの天候にもかかわらず、植樹、散策、熊避けの花火と体験できました。

二日目は、龍泉洞祭に参加でき、役場の職員のみならず、たくさんの出店者や参加者の方々とも交流できたのが良かったです。午後の被災地見学でも感じたことですが、岩泉町民の前向きでまちを愛する心意気を、様々な体験と会話で感じ取れました。被災直後のみならず、今後、友好都市として何が継続してできるかを、我々が自覚をもって行動していかなければならないと痛感しました。

安家地区も被災直後からあまり進んでいないように感じたが、町民の生活はだいぶ落ち着きを見せていた。今後の復興計画があり、河川を広げかさ上げすることでありまし

た。着実な復興を望むとともに、個人的に定期的に訪れることの重要性を感じました。小本地区も津波の被害からの復興を未だに終わっていないことに、津波被害の重大さを再認識しました。

今後も本事業の植樹を含めた友情の森や町民との交流の更なる充実と岩泉産の木や自然を活用した新たな企画に期待しています。

大変、有意義な事業を企画していただき感謝申し上げます。